事	務事	業名	外国籍市民	支援	事業									Initial	事業期間	平成	24	~		年度	整理番号	01070118
担	三当音	8 署	企画総務部			K	ートナ	-シップの	まちづく	り推進課	コミュ	ニテ	ィ推進	係	作成担当:	者名	野	明	香	織	連絡先	145
	お	ける	プランに 位置づけ	有	政策	策体	系	政 施 細 施 事務		07 01 01 01	第1節	i 外 援体		多文化 邦 民の生活 立				ا ا	款	02 3	項 01 目	09 事業 04
Ш	(領			策・ケーを	-国際 -国籍 -設け	化が 市民 たり	示さ の方: 、タ	れていが、言 が、言 イムリ・	るが、 葉や文 一に必	この: (化の) (要な	分野での 建いから 情報に関	の指針 ら生し 関する	計等の要 さる生活 る講座や	を存むを検 き上の様 き日本語	討する必 々な課題 教室を開	要があ に対し 催する	る。	茅野市	で安	心して	生活するだ	
				・ダ	国籍	の方に不	の転	入者は	減って	はき	ているだ	1 4	上活に	8着した	青報は地	域で生	きて	いくた				
F	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)				市民															
	的	(どん	意図												な困難を	取り関	いて	あげ、	茅野	市で安	心して生活	舌できること
L	手 ((第事業の概要) (大 と 背 景 ど うして) () 受 益 者 () 重 の ために) () 乗 を の で の まずます 多文化共生は推進しなければならないが、相談員という立場では一緒に検討するのは難したが、して) () 受 益 者 () 乗 の ために) () 乗 を の で の まずます 多文化共生は推進しなければならないが、相談員という立場では一緒に検討するのは難した () が と 方 に で で と が と 活をした 情報は地域で生きていくために不可欠。生活をした () が と で で で で いるのか、どこから 情報を 得ているのか 把握はできていない。 () 対 象 () か 国籍市民 															を立てる。				
			行政活動の約	洁果:	からこ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	J 評	動	日本語教室							開催業	枚											24
	価指標	指標	生活情報講	坐開	催					開催業	数			0								1
,	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の者	きえ方など	最終目標値
	成	果指	日本語教室							受講者	当数			人								300
		標	生活情報講	至参	加数					参加数	枚			人								30

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	1	717 74 7	(a)	円	23, 000	418, 016	269, 726	694, 630	1, 214, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円		440.040			1 011 000
Addr.		一般財	源	H.	23, 000	418, 016	269, 726	694, 630	1, 214, 000
施	職	正規職	員	人	0. 10	0. 15	0. 10	0. 11	0. 11
	員	嘱託職	員	人	0.04	0.01			
	数	臨 時 職	員	<u> </u>	0.01	0. 01	0. 01	0.11	Λ 11
状		合 	計	人	0. 11	0. 16	0. 11	0. 11	0. 11
	Ż		数						
	Ž È		(b)	т					
			(b)	円円	_	_		_	_
況	5	受 益 者 負 担 5民一人当たりのコス	額	円	0.00	7. 00	5, 00	13, 00	37, 00
-	_	は氏一人目にりのコス		П	24	24	24	24	24
		開催数	目標 実績		24	24	24	24	24
$\overline{}$		刑匪蚁	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100.00	100, 00
	活		目標		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	開催数	実績		-	1			1
	指	I/U IE SA	達成率	%	100.00	100.00	100, 00	100.00	100.00
D	標		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		300	300	300	300	300
	成	受講者数	実績	人	221	401	303	305	250
	果		達成率	%	73. 67	133. 67	101.00	101. 67	83. 33
	指		目標	人	30	30	50	30	30
		参加数	実績	^	21	28	40	30	30
			達成率	%	70.00	93. 33	80.00	100.00	100.00
	備								
	考								

10		集名 外国			7 ~	- T						14. 14.	_	_		平月			_	年	^ -	整理番		01070	-
担	当 部	者性	総務音	ħ		<i>N</i> -1	トナーシップ	のまちつ	つくり推進	#]	ユニティ	推進	徐	1/= /	成担当:	百名	野	明	1			連絡先	5	14	5
	期			E	標						美	[稍	į							課	是	頁			
	**						January S		多文化	:共牛推	進員の多	5曜な	行っ	た。毎	月外国	籍	多又1	共生	争来	のイベ	ント	೭೭ ೮1	5、9	国精	市氏
	弗 1	外国籍の	ファクト	相談窓	ロがー	本化した。	、相談員 くすすめ	74	市民相	談日を	利用して	、事	5局と	と打ち1	合わせる	を実	の参加	か少	ない	。困って り費用	こしい	よいわり	ナでに	はない	の
四									施する	تياتا	た。対応	充実	のた	めに入	国管理	圖局				り食用					
	793								研修を	美 爬。							いきた								
半	第	打合计划	一会せを充実し、計画的な事業を行う。第5次合計画の策定に合わせ、外国人の需要を知り方法を考える。 国籍市民アンケートについて検討。 活情報講座の実施。 国籍市民アンケートについて検討。 活情報講座の実施。 「アンケート内容を決定した。対象に対した。 「関始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化っていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加少など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要である。 「対効果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならなる。」 「対効果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならな」の 「方向」																						
	2							アンケ する。	ト <i>σ</i>	詳細	1(内容	、対	象、方	法な	ど)を	検討									
	期	る方法を	合計画の策定に合わせ、外国人の需要を知方法を考える。 郵送調査では回答率が低いことかめ、聞き取り調査を行う事を決定。 野さんの協力を得る。 生活情報講座の実施。 「アンケート内容を決定した。対象に以上とした。 「関始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化っていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加少など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまが対果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならなえる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) が要な事業であるのか、アンケートについて検討。 「政治な防災にはいる事業であるのが、現状把握が必要であます。」 「成果の方向方向方向では、「大会な事業を関する。」 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。」 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。」 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。」 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対りを表する。 「大会など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまず、対している事業であるのか、現状把握が必要であまず、表すなど、本当に必要としている事業であるのか、アンケートについて検討。														9 00.								
期			合計画の策定に合わせ、外国人の需要を知力法を考える。 郵送調査では回答率が低いことが、関き取り調査を行う事を決定活情報講座の実施。 国籍市民アンケートについて検討。 国籍市民アンケートについて検討。 「アンケート内容を決定した。対象以上とした。 事中 「評価関始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化っていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加のなど、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 「中世																						
	第	外国籍	合計画の策定に合わせ、外国人の需要を知 方法を考える。 郵送調査では回答率が低いことが め、聞き取り調査を行う事を決定 野さんの協力を得る。 生活情報講座では、身近な防災に アンケートについて検討。 「ないないないないないでは、身近な防災に関連は、場所を決定した。対象によった。対象によっていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加のなど、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまれが果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならなえる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) が要な事業であるのか、アンケーをした。 「おいていたのでは、場所では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然														来年月	宇施	に向	けて、さ	*51:	二詳細を	-	t .	
	3 期		国籍市民アンケートについて検討。 活情報講座の実施。 国籍市民アンケートについて検討。 国籍市民アンケートについて検討。 アンケート内容を決定した。対象以上とした。 事中 証明始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化でしていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加でいなど、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であまか対果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならなえる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) が、関き取り調査を行う事を決定を野さんの協力を得る。 生活情報講座のは、身近な防災に対している。対象に対していた。対象に対している。対象に対していたのでは、自然を対している。対象に対していた。対象に対していたのでは、自然を対している。対象に対していた。対象に対していた。対象に対していた。対象に対していた。対象に対していたのでは、自然を対していた。対象に対していた。対象に対していたのでは、自然を対していた。対象に対していたが対象に対していた。対象に対していたが対象に対していた。対象に対していたのは対象に対していた。対象に対していたのは対象に対していた。対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対していた。対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対していたのは対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対																	の参加					
=	栁								生活作	報講座	では、身	近な	防災	につい	て行っ	た。									
	第																								
ع		外国籍市	「民アン	ケー	トにつし	ヽて検	Ħ。				学を決定し	た。	対象	につい	いても18	蒙				-ト時の 3事務を					制な
	期								以上と	U/E.							C . 🗲	ルビード	496	一番の		いる必っ	女が(ກ ຈ.	
								Ti	価																
Ø	M /	生成目私	14. 4.t	16 /	ㅁ 사용성도	'B. I	立にナーリーノ	# I* #	88 85 .	•	•	1				-		-							
	-											今		拡	充			(2		(5)		(D	レ
Arte												後		現	伏維持			(3		6		(9	
管	る。	費用対効												<i>6</i> ⇔	ds						<u> </u>				
	いと	考える。										0)		縮	小			(4		8		Ų	0	
理		新年	度の	実施計	一画・-	予算要	求事項	(改)	性	休	廃止	0	D												
												_ ,	皆	減	縮	//\	珇	状維持	‡ :	拡	大				
														_ 	ス	<u>-</u>	投 ,		のオ	•	52 51				
											_				^	רן	1又 /	^	0)).	יו נ	-1) 1.	Ĭ			
		评価在由	行っていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加減少など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要であた。																						
	_		A														4	生		総	合	評	価	判	定
			1 1			,	1 1	効 2	率	4	判別	5	中心		пT	ІШ	†'J	疋							
評			'		3	4		₽ '		╁	-		J	4		E			Α						
				L 104					<u> </u>		(- (- n+ 00		<u>_</u> _		= 14 31 3	-		4	4	ΙΔ.	ᇎ	. LZ + \	古安	+ '# v	6 Z =
		外国精「	け氏のプ	ケかる	の計画	当か必要	畏				记		īどおり 「適当	争未	で進り	りるこ									
			#用対効果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならな 考える。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方向性 作性 がある。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) が同性 が同性 が同性 が同性 が同性 が同性 が同性 が同性																1 -	号 _R .	車型	きの進め	方に	改善力	が必要
価	鲤	評価年度 当年度 1 点 妥 当 性 有 効 性 五の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1																		-					
価	課																		(ກ c :	事業	€規模・	内容	· 実	
価(3	カ C: 定	事業の見事業	美規模・ 直しが 美の統合	内容 必要	・実力	包主体
^	課題		価年度 当年度 点 妥 当 性 有 効 性 D観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ック 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4																(の 定 義 D:	事業の事計	美規模・ 見直しが 美の統合 「必要	内容 必要 、休	・実が・廃」	も主体 上の検
価(C			点 妥 当 性 有 効 性 D観点 1 2 3 4 判定 ック 4 4 4 4 事情市民の方が参加してみたいという気持ちにさせるのには時間をかけて																()	の 定 義 D: 前年度	事業の事業が	規模・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容 水体 一定	・廃」	^{拖主体} 上の検 A
С С			& m	tá		佐	50	u	/ac		фm		t/c			()	の定義 前年度 前年度評	事業の事業が	類様・ 規値が	内必、 定番号	・実加・廃」 ・廃」	を主体 上の検			
^	題		細	施		策	割食成果		<u>価</u>	k o T	前	· = 3		細		施		策	į,	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の 関連の が の必要価を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
С С	題	茅野市7	٠ <u>. ل</u> ٠	っかり	と永住	U. I	尿庭があ			とって	前、外国籍			うで、	しっか	りと	永住し	、家	産が	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の 関連の が の必要価を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(с н	題		٠ <u>. ل</u> ٠	っかり	と永住	U. I	尿庭があ			とって				うで、		りと	永住し	、家	産が	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の 関連の が の必要価を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(с н	題総合	茅野市7	٠ <u>. ل</u> ٠	っかり	と永住	U. I	尿庭があ			とって				うで、	しっか	りと	永住し	、家	産が	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の必要価を 関連の必要価を 関連ののでは、 関連ののでは、 関連ののでは、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(C H E C	題総	茅野市7	٠ <u>. ل</u> ٠	っかり	と永住	U. I	尿庭があ			とって				うで、	しっか	りと	永住し	、家	産が	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の必要価を 関連の必要価を 関連ののでは、 関連ののでは、 関連ののでは、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(C H E	題総合評	茅野市7	٠ <u>. ل</u> ٠	っかり	と永住	U. I	尿庭があ			とって				うで、	しっか	りと	永住し	、家	産が	か定義の日本の一方でである。 一方でである。 一方でである。 一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、	事の事討総価	類は、 関連の必要価を 関連の必要価を 関連ののでは、 関連ののでは、 関連ののでは、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(C H E C	題総合	茅野市で 民の生活	さ、した 透応援	っかり こは必	と永住 要な 事	までも	家庭があ ある。	る方で	たちに	とって		E	₹ の\$	おで、 生活応	しっか 援には	 りと 必要	永住しな事業	、家 であ	庭が。	D 定義 前年度 評本	事の事討総価 たち	き見真の必評・価に ・が合・半価と	内必、 定 番号	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(сн ш ск)	題総合評	茅野市で民の生活 前 年	度 改	っから	と永住 要な事	善業	家庭があ ある。 で 変	る方 : ・施	た <mark>たちに</mark> 状 況	とって	、外国籍	E	₹ の\$	ただに	しっか 援 には 施 策	りと 要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改	題総合評	茅野市で民の生活 前 年	さ、した 透応援	っかり こは必	と永住 要な事	までも	家庭があ ある。 野 ア 実	る方 : ・施	状況	<u> </u>	前	E	₹ の\$	度細	しっ か 援 には 施 策	 りと 必要	永住しな事業 な事業	、家 であ	庭が。	D 定義 前年度 評本	事の事討総価たち	き見真の必評・価に ・が合・半価と	内必、「定番」で、	・実が ・廃」 0107 後	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・	題総合評価	茅野市で民の生活	度 改	っから	と永住 要な事	善業	家庭があ ある。 で 変	る方 : ・施	た <mark>たちに</mark> 状 況	<u> </u>	、外国籍	E	前年	ただに	しっ か 援 には 施 策	りと 要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・	題総合評価今後	茅野市 で開かれています。	度。破る	かり び 革 施	と永住 要な事	善業	家庭があ ある。 野 ア 実	る方 : ・施	状況		前	E	前年成果	た 度細 拡	しっ か 援 には 施 策	りと 必要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・改善	題総合評価今後の	茅野市 生活 前 成果の	度 細 拡 現状	かは必	と永住 要な事	善業	家庭があ ある。 ***	る方 : ・施	大 大 大 大 大 大 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<u> </u>	前 ⑦ ③	Ī	前年	度細拡現	した (大維持)	りと 必要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・改善	題総合評価今後	事務の 前 成果の方向	大大 皮 と と と と と と と と と と と と と と と と と と	かり び 革 施	と永住 要な事	善業	家庭がある。 実 割	る方 : ・施	大 次 次	<u> </u>	前	Ī	前は成果の方向は	た 度細 拡	し <mark>援には</mark> 施	りと 必要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・改善	題 総合評価 今後の方	茅野市 電子 年 年	度 細 拡 現状	かは必革産権	と永住 要な事	善業	家庭があ ある。 ***	る方 : ・施	大 大 大 大 大 大 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	<u> </u>	前 ⑦ ③	Ī	前の成果の方	た 度 細 拡 現 縮	した (大維持)	りと 必要	永住しな事業 な事業	.、 家 さであ らける	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、「定番」で、	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・改善の方向	題 総合評価 今後の方向	事務の 前 成果の方向	(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	かは必革産権	・改	善業	家庭があ ある。 ***	る方 : ・施	大 大 大 大 大 大 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		前 ⑦ ③	Ī	前は成果の方向は	た 度 細 拡 現 縮	した 策	り 必 評	永住しな事業 面にお	、家 きであ まであ	庭が。	D 定義 前年度評 ある方	事の事討総価たち	に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、 定番 て	· 実加 (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (2010年) (10107) (20107)	を主体 上の検 A 70210
(C H E C K) 改革・改善	題 総合評価 今後の方	事務の 前 成果の方向	(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	かは必革産権	・改	善策	家庭があ ある。 の 実 割 ② 3 4	る方が	大 大 (5) (6) (8) (8)	レ()	前 ⑦ ③	1	前は成果の方向は	た 度 細 拡 現 縮	した 策	り 必 評	永住し な事業 西にお	、家 きであ まであ	庭がる。	D 定義 前年 評 あ 後 評 小	事の事討総 価 た 方	規値の必要価を ・	内必、定番で、	· 実 / () () () () () () () () () (を主体 A 70210 39 第市
(C H E C K) 改革・改善の方向性(A	題 総合評価 今後の方向性 改	事の 前 成果の方向性 事 外 4	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ 拡 プ		の 前 成果の方向性 編集	T	し援 施 朱 か 止 が 方 が	い必 評価 施力	永住し な事業 5 に お	、で : () 策	産る 今 縮トい	の定義前が評さる後に評し、投入の上で、度評をある。	事の事 <u>討総</u>	規直統要 価 と 性価 価 米の計画 大大の計画 は 大大の計画 と は 大大の計画 は 大人の計画 は 大人の計画 は 大大の計画 は 大大の計画 は 大大の計画 は 大大の計画 は 大大の計画 は 大人の計画 は は 大人の計画 は 大人の計画 は 大人の計画 は 大人の計画 は 大人の計画 は は 大人の計画 は は は 大人の計画 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	内必、 定番 て	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を主体 A 70210 大 工
(C H E C K) 改革・改善の方向性(AC	題 総合評価 今後の方向性	事の 前 成果の方向性	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	T. k	し <mark>援</mark> 施 株 小 止 方2 9	り必 評 施 加度	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直の必評 h 価に 性 低 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計	内必、 定番 て トラート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	題 総合評価 今後の方向性 改革・	事の 前 成果の方向性 事 外 4	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	T. k	し援 施 朱 か 止 が 方 が	り必 評 施 加度	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直の必評 h 価に 性 低 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計	内必、 定番 て トラート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	事の 前 成果の方向性 事 外 4	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	T. k	し <mark>援</mark> 施 株 小 止 方2 9	り必 評 施 加度	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直の必評 h 価に 性 低 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計	内必、 定番 て トラート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	事の 前 成果の方向性 事 外 4	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	T. k	し <mark>援</mark> 施 株 小 止 方2 9	り必 評 施 加度	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直の必評 h 価に 性 低 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計	内必、 定番 て トラート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	事の 前 成果の方向性 事 外 4	大阪 大阪	かり必然を持った。	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方: 施 下	大 大 (5) (6) (8) 現状 の	レ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	T. k	し <mark>援</mark> 施 株 小 止 方2 9	り必 評 施 加度	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直の必評 h 価に 性 低 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計 大の計	内必、 定番 て トラート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	事の 前 成果の方向性 事 外 4	は 大	のになる。 なりのは、	· 改 ・ 改 ・ 改	善策	家庭があ 。 実 割 ② ③ ④ 縮 ト ‡	る方が	大 大 (5) (6) (8) 現状の を計	レ維持方し、	前 ⑦ ③ ・ 拡 対 性		の 年 成果の方向性 集を	下活 度 細 拡 現 縮 休 一 南 3 c 路 1 c	し <mark>援</mark> 施 株 小 止 方2 9	り必 評 施 か か か か 食 布 か か 度 称	永住し な事業 じた に お して あ して よ	、で 	庭る 今 縮トいの	の定義 前年 評あ 1C D 度 評 カ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 大 の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	事の事討総 価 た 方	親直統 字 下 価 に 性 価 状の 計ン定 ・が合 半 理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内必、 lp 番 て	・ 序	転主体 検A 70210市市大 エ、。

平成28年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

			健診・検		康和語											事業期間		_		~		牛皮	整理都		030201	
担	当部	署	健康福祉	部		(保健課			•	健康推	進係			1	作成担当	4者名	í	森	井	潤		連絡	先	326	
計	おり	ナる	プラント位置づし	l† 1	政	策体	系	政施 細施		01 02	第7章 第1節 保健・ 健診・	5 医療	国籍市	i民の L応援	生活体制	の確立			1,5	001	±hı	1	5		± #	
RI	ブ	昇	事業名	•	日体士	EA	加多公	F. ===	18 /- BE	する相	歌体:	t 中化	-				云	計コ-	-	001	款	_ Ij	Į —	目	- 事業	_
画	事系	多事	業の概§ ゔかりゃすく	要)																						
			と 背 景うして)	文化	と・言	語に				·様化し iされて			L幼児(建診り	や予	防接種(の現場	易にお	ける	対応	ま実情	に応	じて実	施し	ているか	1 5.
(目	対	受益者	.)	国籍市	民																				
P		象	対象(直接働きかけん	న)			m == 1	E htr	eta A. I.	- 40 84	·	7 LLA	ıl adı Make		•											
	的	(どん	意図な状態にしたいか	δ ν)						て相談																
L	手	段	・方法	る。		!セン	ター、	各サ [·]	ーピス	センタ	- , ;	こども	課で	の総合	計相	談及びī	市民	果での	外国	籍市	民相制	で随	時相談	等を	·受けてし	,\$
A	(}	どう	やって))																						
			行政活動の	の結果	からつ	با > د	リだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単	位	算出力	法:	計算	式•	目標	値設に	どの考	え方な	こど	最終目標	票値
N	評	活動	相談機会	の確保						相談機	会の配	准保														
	価	指標																								
)	標 の																									
		成	成果	į .	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単	位	算出力	法:	計算	式·	目標	値設に	どの考	え方な	こど	最終目標	票値
		果 指	相談機会	の確保						相談機	会の配	確保														
		標																								

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lelle.		(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
7		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	PE V	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	_
			目標	_					
		相談機会の確保	実績						
	活		達成率	%	-	_	_	_	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	गर		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	-	to set the A in the Sec	目標	_					
	成	相談機会の確保	実績						
	果指		達成率	%	_		-	-	
)	指		目標	_					
	標		実績	%	_	_			
		ク加雪マサナーナルフェ	達成率				しな回数かため、東	世帯については20巻1	#515 = 1, 1, 1, 4,
	備	多部署で対応しているこ	. ⊂ 、 ま	12. 9	1四種甲氏に刈りる作	1畝のかを割り口り こ	とか凶難なにめ、争	未買については記載し	しないこととした。
	考								
	7								

第			業名 健診・	-	康相談		4.20			Production Co.	- 14. VA P	•			業期			_	~	年		
お国権市民の方が、いつでも気軽に相談に来 家族や友人の温製により相談がスムーズに行え 日本語が話せない人の相談 日本語が話をないる。日本語が話をないまたいた。日本語の画館に表述といいまた。日本語の書館に表述を記述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述			3 者 健康化				基 联			健原	* 推進係		/+	17		当石名	1	罧	开			326
(株成上 1 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	-	期			目標							実	績							課	題	
1	卫	1				も気軽	に相談	に来		友人	の通訳に	こより	相談	がスム-	ーズに	行え	日本	語が	話せた	ない人の	相談	
### 1		2				も気軽(に相談	に来		友人	の通訳に	こより	相談	がスム -	ーズに	行え	日本	語が	話せな	ない人の	相談	
# 1		3	外国籍市月 られる体制	その方が、 を維持す	いつでる。	も気軽	に相談	に来		友人	の通訳に	こより	相談	がスム-	ーズに	行え	日本	語が	話せた	ない人の	相談	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	بر	4	外国籍市日 られる体制	その方が、 を維持す。	いつで る。	も気軽	に相談	に来	2	友人	の通訳に	こより		がスム-	ーズに	行え	日本	S語が	話せた	ない人の	相談	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	စ									_	-											
新年度の実施計画・予算要求事項 (改革・改善策)		当年	年度開始後	、約6ヶ	月が経	過し、	新たり	こ生じ	た問題』	点や環	境の変	化				充			2		⑤	7
新年度の実施計画・予算要求事項 (改革・改善策)	管														!状維	持			3		⑥ レ	9
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)												ì	小			4		8	10			
中国			新年度	の実施語	計画·	予算要	求事	項(改	革・改		·	廃	止	1)								
性 コスト投入の方向性	理									向					減	縮	/\ <u> </u>	現状維持	基 拡 大			
評価年度 当年度 現点 マ															-							
視点 安 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定		性 コスト投入の方向性 評価年度 当年度																				
評価の観点 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定		評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定																				
A		評価年度 当年度																				
多数の外国籍市民が生活していることから、その方々が抱えている健康に関する課題を踏まえた相談体制	Ŧ			1 2	3	4		E '		<u> </u>	4	+		1		3	4				Α	
を整える。 日本	-			国籍市民か	「生活し	ている		から、	その方	マが	包えてい	 る個		関する	課題を	を踏ま	えた			A :	計画どおり	事業を進める
Big																						方に改善が必
B	曲	課																		の c :	事業規模:	内容・実施主
新年度総合評価判定 A 新年度評価シート整理番号 0302010 200	_																				事業の統合	
細 施 策 評 価 前 細 施 策 評 価 後 関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合 関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合 相談の中で随時相談を受けている。	_	題																		前年度		引定 A
総合 関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合 相談の中で随時相談を受けている。	では、																					
合 相談の中で随時相談を受けている。 前 年 度 改 革 ・ 改 善 策 の 実 施 状 況 実 施 済 前 年度細 施 策 評価における 今後の方向性 今 機 施 策 評 価 前 成 拡 充 果 現状維持 ③ ⑤ レ ⑨ 力 向 権 小 「	н	<i>4</i> /\	• • • •																			
合語 面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面	Е	総						特化し	た相談	ではな	よいが、	総合								=特化し	た相談では	まないが、総合
評価 前年度改革・改善策の実施状況 実施済 前年度細施策評価における今後の方向性 今 機		合	THEORY	- Marie of High									THE		- PARTIES	ППВХ			•			
価 前年度改革・改善策の実施状況 実施済 前年度細施策評価における今後の方向性	C	雪亚																				
前年度改革・改善策の実施状況 実施済 前年度細施策評価における今後の方向性 今後の成拡充 ② ⑤ ② ② ② 成成拡充 ② ⑤ ② 以成 拡充 基果の別状維持 ② 以内方向格 小内向性 体廃止 性体廃止 質減縮 小別状維持 以の方向性 本日本 財政・経済・財政・経済・財政・経済・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・財政・	ĸ	計																				
会 細 施 策 評 価 前 後 成 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 現状維持 ③ ⑥ レ ⑨ 方向性 体 廃 止 ① 性 休 廃 止 ① 個 個 版 策 評 価 後 成 拡 充 果 現状維持 レ の 方向性 休 廃 止 ① ● 現状維持 版 大 図 板 係 小 現状維持 拡 大 図 版 縮 小 現状維持 拡 大 図 ス ト 投 入 の 方 向性 ス ス ト 投 入 の 方 向性 図 ス ト 投 入 の 方 向性 図 ス ト 投 入 の 方 向性 図 基 に相談に来れる体制を維持する。	ر	価	*	++	74	** **			.11) \	- I				 -	m +- /		/ ** /-	b. 11	7 ^			
7 後 成 拡 充 現状維持 ③ ⑥ レ ⑨ 現状維持 レ 方向 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 竹 竹 株 廃 止 上 性 休 廃 止 ① 世 株 廃 止 財 <	-						ŧ ())					湃	刖:				1回 に		ත -			
後の方向 1 <td< th=""><th>牧革</th><th>今</th><th></th><th></th><th>也</th><th>策</th><th><u> </u></th><th>評</th><th></th><th></th><th>:</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>策</th><th>:</th><th>評</th><th>価</th><th>後</th></td<>	牧革	今			也	策	<u> </u>	評			:							策	:	評	価	後
の 方 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 方 縮 小 少 方 向 性 休 廃 止 ・ <td< th=""><th></th><td>後</td><td>単</td><td></td><td></td><td></td><td>ļ</td><td></td><td>(5)</td><td></td><td>ļ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>		後	単				ļ		(5)		ļ											
方向性 休廃止 性休廃止 性休廃止 性休廃止 皆減縮小現状維持拡大コスト投入の方向性コスト投入の方向性コスト投入の方向性 改外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。 外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。 改善等	改善	の	の ^ザ	! 状維持			3		6	レ	9		の	玗	状維:	持					レ	
性 休廃止 性 休廃止 性 休廃止 皆減縮小現状維持拡大コスト投入の方向性コスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェスト投入の方向性カウェストないのでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	。 の	方		小			4		8		10		方向	縮	3 4	小						
性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 ひ 外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。 改 本 ・ 改 善 策	方向		1.7	廃 止	1									付	· 廃 .	止						
は コスト投入の方向性 以外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。 外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。 よ よ み み き ま 金 き	4			/	皆	減		-			拡	大					皆	減		•		
本 本 。 改善 善 策	^		州田华士	10+18	1100								NI III	※ 士 =	10±	46 .						
世 改 善 策	A C		77国精甲5	いりか、	ריי	東原でこ	至 〜怕	歌に米	4 t 🔊 🎋	叩せ	≝ा त १ ६) o	がほ	神田中島	こいガ	<i>⊪</i> , l	ى ر ،	フスト	性に个	ロ映に米	46句神剛を	「榧付りる。
策	Т	#																				
策	I O	改																				
	N	善																				
終評価年月日 平成29年5月9日 最終評価責任者 健康づくり推進課長 栁澤澄子	<u> </u>	策																				
	是 終	冬評	価年月日	平成2	9年5月	9日	最終	冬 評 (西責	任者				健康:	づくり丼	進課	長				柳澤	澄 子

平成28年度事務事業評価シート (一般事務事業用)

事系	务事業	美名	検診等多国	語案	内書作	成事	業								事業期間] 平成	į	~	年度	整理番号	03020101
担	当部	署	健康福祉部	3		保	健課				健康推	推進係			作成担当	者名	森	井	潤	連絡先	326
					政分	策 体	系 -			01 02	第11	· 医療	·国籍市 • 福祉	 民の生 応援体	活応援 制の確立						
計	-	Arte-	* * b	-	D. 787 484	mile.		事務=	事業	03	性診 '	・検診	寺条内	一件队	事 来		_ 18	1 001	±h 04	TE 01 D	01 *** 00
AI	予	算	事 業 名				2. DH-4a	±.∓#		14-84-1	- 88	7 47 4	- 	h + #=	- 	会計	コート	001	款 04	項 01 日	01 事業 03
画	事為	民プランに ける位置づけ 有																			
				現在	E健康	カレン	ノダー	ーによる	る各種	検診な	まどの	申しば	込みをイ	行ってい	るが、タ	ト国籍 ī	市民に3	理解さ	れないため	·	
	目	対				民															
P	 現 (どうして) 															- 1 - 1 h					
	的	(どん	意図のな状態にしたいか)	る。																	
L A		お 対象																			
			行政活動の	結果	からつ	くり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	十算式	・目標	値設定の	考え方など	最終目標値
N	評	活動	案内の作成	į						言語类	ţ			か国語	ポルト 韓国語		、タカ	プログ語	、中国語	、英語、	5
	価指標の	指標																			
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	†算式	・目標	値設定の	考え方など	最終目標値
	成	(果指標	案内の作成	t						案内作	成書	語数道	起成率	%	作成言	語数÷	最終目	標数			100
		175																			

	J	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	140, 000	150, 000			150, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
44	訳	一 般 財	源	円	140, 000	150, 000			150, 000
施	職	正規職	員	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	
-		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円	0.00	0.00			0.00
	-	市民一人当たりのコス		円	2. 00	3. 00			3.00
			_ _ _						
			目標	か国語	5	5	5	5	5
		言語数	実績	か国語	5	5	5	5	5
(活	言語数	実績 達成率	か国語 %					
(活動	言語数	実績 達成率 目標		5	5	5	5	5
(動指	言語数	実績 達成率 目標 実績	% _	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(_	活動指標	言語数	実績 達成率 実績 達成率		5	5	5	5	5
	動指	言語数	実成標績率に	% _	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	_	実績軍民権軍人	% - % -	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
۵	動指	_	実達目実成標績率標績率	% - % - %	100.00 -	100.00	5 100.00	5 100.00	100.00
	動指標	_	実達目実達目実達目実施標	% - % -	5 100.00 — — — — 100	5 100.00 — — — — 100	5 100.00 — — — 100	5 100.00 — — — — 100	5 100.00
۵	動指標 成果	_	実達目実成標績率標績率	% - % - %	- 100.00 - 100 100	100.00	5 100.00	- 100.00 - - 100 100	100.00
О О	動指標 成果	_	実成目実達目実達日実成標績率標績率標績率標績率	% - % - %	5 100.00 — — — — 100	5 100.00 — — 100 100	5 100.00 ————————————————————————————————	5 100.00 — — — — 100	5 100.00 ————————————————————————————————
۵	動指標 成果指	_	実成目実成目実成目実成目標	% - % - %	- 100.00 - 100 100	5 100.00 — — 100 100	5 100.00 ————————————————————————————————	- 100.00 - - 100 100	5 100.00 ————————————————————————————————
О О	動指標 成果	_	実成目実達目実達日実成標績率標績率標績率標績率	% - % - %	- 100.00 - 100 100	5 100.00 — — 100 100	5 100.00 ————————————————————————————————	- 100.00 - - 100 100	5 100.00 ————————————————————————————————
О О	動指標成果指標	_	実達目実達目実達目実達目実	% - % - % %	100.00 100 100 100 100.00	100. 00 100 100 100. 00	5 100.00 ————————————————————————————————	- 100.00 - - 100 100 100.00	- 100.00 - - 100 100 100.00
О О	動指標 成果指標 備	_	実達目実達目実達目実達目実	% - % - % %	100.00 100 100 100 100.00	100. 00 100 100 100. 00	5 100.00 ————————————————————————————————	- 100.00 - - 100 100 100.00	- 100.00 - - 100 100 100.00
О О	動指標成果指標	_	実達目実達目実達目実達目実	% - % - % %	100.00 100 100 100 100.00	100. 00 100 100 100. 00	5 100.00 ————————————————————————————————	- 100.00 - - 100 100 100.00	100. 00 100. 00 100 100 100. 00

事務	事	業名	検診	等多	国語》	内書	作成事	ŧ								事	業期	間平	龙成		~	白	F度	整理番号	030	20101
担	当书	部署	健康	福祉	部		保	建課			健	康推	性係			作	成担	当者名	3	森	井	潤		連絡先	3	26
	期					目 桴	Ē						実	:	į							Ī	課	題		
四	第 1 期	o i					食診内 容 受けら				日程と		国語、 接種の						状	兄に対	じて	対応する	必到	者に変動 をがある。 トて対応す	需要が	ため、 少な
	第 2 期	o i	1程を				食診内 額 受けられ				日程と		国語、 養種の						状	兄に求	じて	対応する	必多	者に 変動 要がある。 トて対応す	需要が	
期ご	第 3 期	o i	3程を				食診内容 受けら ²				日程と		国語、 接種の						状	兄に対	けじてが	対応する	必到	者に 変動 をがある。 ・て対応す	需要が	
٤	第 4 期	O.	3程を	限が確認	朝訳で	された 診等 を	食診内 容 受けられ	学や予 れるよ	防接種うにす				認した。 明した		, [発存の	原稿	で対応			に向け ること		まかり	変更となる	案内を	もれな
o o												事	中	Ē		価										
							圣過し、 るか確認			た問題	点や	環境0)変化	今	成果			充			2		Œ)	7	
管	471 A	/_' &	M DI (A)	· 92-34	**************************************	170°00°	かい.地田 Di	6 Z 9 .	യം					後	の	現	.状維	持			3		Œ) V	9	
														の	方向			小			4		(8	3)	10	
理							予算要							方	性		廃	止	1							
~			変更と するこ		事業な	1212	いては	、多国	籍市民	の増加	を踏る	まえて	丁單	向					皆	減	統	一	۱ غ	見状維持	拡	大
				_•										性					:	J 7	, , ,	· 投	入	の方	向	性
			5年度 当年度 点 妥 当 性 有 効 性 観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																							
	_		点 妥 当 性 有 効 性 の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 :ック レ 3 4 4																7	性		総	_	=a; /=	- थ्या	_
			点 妥 当 性 有 効 性 O観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ック レ 3 4 4															-4			判定	祁芯	合	評価	判	定
評					1 -	1	1	<u> </u>			1	•	2	1			4	1		В						
		外	観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ック レ 3 4 4																	<u> </u>		記 A		画どおり	業を進	めるこ
価(課	:	点 妥 当 性 有 効 性 変 D観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1																			号 B の C	: 事 : 事	が適当 業規模・内 見の統一の 関連の統合、	P容・実 必要	施主体
С	題																					10.0	度総	が必要 合評価判 シート整理		B
н																		施		策		評	評1四:	一ト登理を	後	J20101
	総	新力	たな翻訳の必要がなく、在庫で対応ができた。														の名						ため	、状況に		対応す
E	合													3	必	要があ	うる 。									
С																										
ĸ	評																									
	価	i																								
		前	年	度i	改革	• 改	善多	乗 の	実 施	状 涉	7	実力	も 済	Ē	前左	₣度糹	田施	策 評	価に	おり	ける・	今後の	方	向性		
改革	今		i	細	1	拖	策		評	佃	F .	前				細		施		策		評		価	後	
*	後	成		拡	充			2		⑤		7			成田	拉		充								
改善	の	未		現状	維持			3		6	レ	9			果 の	瑪	状維	持						レ		
一の	方	ナ		縮	小			4		8		10			方向	縮	î	小								
方向	向	1/4		休息	尧 止	1									性	休	廃	止								
向性			_		_	皆	減	縮	小		維持			=			_		皆	減	縮	小		現状維持	拡	大
•	性				· 10 '	Li pie i	= 7		投	入の	方	向	性	4	_			. سد دی	ML					の方	向 性	ŧ
C	改革		求百费	八二元	して	可応し	ていき	にい。						7	· E	人の日	: 氏省	丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁	奴に	ひじて	对応	してい	ぎた	، ۱۰		
Т	甲・																									
I 0	改																									
N	善	:																								
)	策																									
最終	冬評	「価を	₹月日	3	平成2	9年5月	19日	最絹	冬評・	価 責	任者	旨				健康	づくり	推進	果				栁	澤	澄	子

事務	事業	(名	保育園に	おける	多文	化共生	E教T	有推進	事業								事業	期間	平凡	Ì Z	21	~		年月	度 3	整理	番号	060	20211
担当	当部	署	こども部	3		4	カ児	教育 記	Ŗ.		3	幼児養	教育係	Ŕ			作成技	担当:	者名	北	涄	い	ず	み		連絡	先	(622
	市 おり	民 : ナる	プラン 位置づ	にけ	政	策体	系		第 施 施 務事業) In (01 9	第 1 卸 子育 で	市 タ で・教	国籍	市民	文化 の生 制の にお	舌応抗 確立	是			育推:	進事	*						
計	予	算	事 業 :	名						•									会計		ード	001	款	03	項	02	目	02	事業 02
画	事和	务事	· 業 の 概 _{わかりやす} 。	要 く こ	社会	ありま	常生いて	活のも外	さまる	くまな レーツ	場面を持	で外 つ児	国籍で	市民。	と密持	妾なか り、園	かわ	りを 、習	持つ 慣、	時代言葉	を迫、負	!えて 事等	いま で適	す。 応し	づら	いる	例カ	〈報告	校、地 される 取り組
			と 背 爿うして	うに	ラブルおいて	レにな ても、	るこ 環境	とが	ある。	また	、母	国語	だけ	でなり															れず、 幼児期
(目	対象	受益・(誰のため)対象(直接働きかけ	(E)	園児、 同上	保護	者																						
Р	的	(どん	意図 な状態にしたい	·か) 達	いを	認め合	い、	互い	に理角	な な 深	めあ	いな	がらt	協力 7	できる	る多文	化共	生社	会の	実現	を図	りま	す。						互いの
L			・ 方 i やって	法) 手	ます。 日本ノ の国乳	また 人の 団 とを尊	、児重	っ対る機対	りとし、 会を扱 してに	たけるのしました。	本子さまる	を達。慣の	うこ。 のル- 違い;	とに。 ーツの から	よりま の国 むこ	里解し の手遊 る課題	やく びや に対	な歌 し し	よう 絵本 丁寧	配慮とで分	しを かり	す。 1介す やす	る機い対	会を応に	保育	で	中に耳	なり入	援を行れ、相 国籍園
			行政活動	の結果	から	つくり	りだす	† もの	つは何	?	指	標	名	称		単 位	算占	出方:	法・	计算	式・	目標	値設	定の)考	え方	など	最終	目標値
N	評	活動指	外国文 読み聞か			操、哥	火、!	ノズム	遊び	、実	施率					%	実施	包回	数/保	育園	数×	4回							100
		標																											
	作	成	成	果 ·	効	果	は	何	?		指	標	名	称		単 位	算上	出方	法・	计算	式·	目標	値設	定の)考	え方	など	最終	目標値
	成	果指標	外国籍	園児伊	護者	の安心)度			安	心度					%	100	– (トラこ	ブルギ	牛数	/外国	籍保	護者	数)				100
		惊																											

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人		0. 01	0. 01	0. 01	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人		0. 01	0. 01	0. 01	
1/4	7		数						
			(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	_	-	_	_
			目標	%		100	100	100	100
		実施率	実績			60	200	121	100
	活		達成率	%	_	60. 00	200. 00	120. 80	100.00
	動		目標						
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-	-	_	_
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
0	_1,		目標	%	·	100	100	100	100
	成	安心度	実績			98	100	100	100
	果		達成率	%	_	98. 00	100.00	100.00	100.00
	果指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
	備								
	考								

	労争 ラ 当 部	署 こども		の多又1		以育推進· 兄教育課		44	児教育係			事耒期[[作成担当	_			、ず	平度 み	建辉1			20211 322
担	田司	者して	可		A)])	7. 秋月珠		A JJ.	尤教育派			作队担目	自有石	ᄺ	澤し	· 9	<u> </u>	理和	元	· ·)22
	期			目 標	Ę					実績	Ī						課	題			
	第	・園長会で					_ -6	長会で	収組みにつ	238			- 且体	的な活	動内室	の検	付と実施	施			
四	1	・外国籍の	新人園リ	さとその	保護者	に対する			音園児の地								士体		∌加の	促し	
	期	慮																			
ale	第		* - 4.	-4-11																	
半	宛 2	日々の保外国籍の					E	コングモン	卜市交換	との交流	į.		・ロング	ブモント	市の等	学生と	の交流	内容	こつじ	いて、他	
	期	・外国籍保	選者の1	段句が。 日保育・	十仏論(エルでとり	<u>.</u> ಭ	本操や歌の	の中で外国	としむ			置でも	活かも	さこと	を検討	t				
期	241	71 - 44 -																			
791	第	•日々の保	音の由い	ナルス	活動室	tá:		太場 わ動ん	の中で外国	BL #5											
	3	・外国籍の	園児・保	護者が	をしく国	ル 生活を送	tる し,		かぼちゃの	rc-u			-遊び	の中で	親しめ	るよう	に、環境	境を事	をえる		
2	期	-外国籍保							会の実施											•	
_																					
	第	・日々の保	育の中に	おける	活動実	施															
ځ	4	•外国籍の					も ・	本操や歌(見しむ			•遊び	の中で	親しめ	るよう	に、環境	境を勤	とえる	•		
	期																				
								-	平 個												
Ø	VI - 4	- ch-00///	<i>#</i> L =	D 187-	7 \ P \	фr ь	41877	9 8 5 H		-					•						
		F度開始後									広 3	仓		C	2)	(5		7		
		の歌や体意識づけか		ッ人れる	ا الحاد	ついて、	タメ化チ	七教育	後	果᠁	見状維持	÷		Ç	3)	(6)	レ	9		
管	ľ	nan (1996 1774)	× × 0							¥											
									の	方	宿り	<u>ا</u> ۱		(D	(8		10		
200								・改善策		木廃」	E (1)									
理	園長	会で周知し	、多文(とに触れ	る保育	内容を継	!続して!	実践する。				EK.	> 	· c	ds	ᄑᄆᆚᅶᄵ	4++	++			
										/	,	皆		縮		現状維		拡	大		
													ス	ト 投	人	の	方	向	性		
						1															
_	_	平価年度		当年度																	
		1 点	妥	当		性		有	効 1		効	率	1	生	糸	総 合	評	価	判	定	
評	評価	の観点	1 2	3	4	判定	1	2 3	1	2	3	4	判定								
нT	チ	ェック				4		l t					4				В				
		• 多文化	共生教育	を意識	をして	呆育内容	の中に	エ夫して	が、職員	会等で	時折	、共通	認識を	==				業を進	めるこ		
		していく												記号		が適当		ニュル羊	が必要		
価	課	・外国籍の文化や生	り人所が + 注羽機	ある中で	でパン	フレット	の活用・	や保護者	流をした	よから異	又化	に親し	み日本	o o	C : ∄	業規模	* 内	で以当容・実	が必安に施主体		
		· 外国籍(の保護者	の1日保	育士体	こりる。 験参加3	をが向上	していた						定		見直し			ملمان		
	題													義		ŧ耒の桁 けが必要		ト・発	止の検		
С	KE													前:	年度総	合評価	判定	:	В		
														前年	度評価	シート書	整理番	号 060	020211		
н		細		施	策	割	F	価		糸	H	施		策	評		価		後		
	総	・遊びの「						を取りい	が定 -	遊びの								しいわ		とが定	
E		着してきた	と。英語	の絵本の	の読み	聞かせ、	体操、	遊びなど	に取り入れ	れる オ	けしてき	た。英詞	吾の絵	本の部	み聞が	りせ、(体操、	遊びな	よどに	取り	入れる
		ことで子	どもたち	が、多	文化に	触れて楽	しむ機:	会が多く	なってき:	てい	とで子	どもたり	らが、	多文化	に触れ	て楽	しむ機	会が多	ろくな	って	きてい
С		る。 ・外国籍(か国旧が	z //—:	ずに 圏4	生活を送	スニレ	パできる	ようにする	3 t- 6	。 外国籍	の間児が	パ マル	ープに		Eを详.	ス.− レ	ができ	トスト	31-	するた
	評	めの支援を					- U - C -		J. 71-7		の支援							,, , ,	. 00	. , , .	, 0,-
K	価																				
)	ІШ	前年月	ま 改 革	• 76	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まの 実	2 施 状	· 沪	実施	<u>Ā</u> ī	前年度	細施等	宇証が	新 <i>に</i> お	: I+ A	会 後	n ±	向 性	1		
										7											
改革	今	細		施	策	割	<u> </u>	価	前		希	H	施		策	評		価		後	
*	後	770	太 充			2	(5		7		,,,,	拡ぎ	ž								
改		果	見状維持			3	(6) V	9		果 *******	現状維持	‡					レ			
善	の	±									<i>-</i>		·····								
0	方	向	宿 小			4	8)	10		カ 向	縮 小	١								
方向	6	性(木 廃 止	1							性	休廃」	Ł								
回性	向			皆	減	縮	小 耳	見状維持	拡	大	_			皆	減	縮	小	現状維	持	拡	大
1±	性			"	」。 コ フ			の方	向性				I				· 八 と 入	の	:	可 性	
A	改	• 多文化:	共生教育	を意識					活・遊び!	こ取 -	多文化	共生教1	年を意								
С	革	りいれた	呆育環境							والخات	いれた	保育環境									
Т	#	が期待でき		,	女子、12 ·	E. 1 de 20	ъ п. -	ለ ተሁ ሁ	# 22 39 48 •	ا ا	期待で	きる。	1 / 4		الموواء	4-10		· Λ "	سلاما	. <u>250</u> 500	10 1-10
I	改	・保護者 れること									<mark>保護者</mark> いること										
0	善善	し、1日代									、1日										
N	普	る。	–																		
	#	0 .								4											
	策	ବ -								6	0 0										
最終		ॐ 。 価年月日	平成	29年5月	19日	最 終	評価	責任者	ĭ	- 6		児教育	課長				五	味	留	美	子

事務	事業		名 多言語生活情報誌の発行事業												事業期間	平成	22	~		年度	整理番号	01070117
担:	当部	署	企画総務部			/\$-	ートナー	シップのま	ちづくり	推進課	コミュ	ニテ	ィ推進	係(作成担当:	者名	野	明	香	織	連絡先	145
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系 -			01 5 05 5		報発	·国籍市 信体制	多文化井 民の生活 の確立 の発行事	応援	を創る						
計	予	算	事 業 名													会計:	コート	001	款	02	項 01 目	05 事業 10
画	事	務事	外国籍市民が茅野市民としてこころ豊かな日常生活を送れるよう生活応援事業として、生活上必要な情報を提供するため 生活情報誌を作成する。 事業の概要																			
			と 背 景											いらの情	報が外国	籍市民	へ届	いてい	ない	。不安	なく生活で	けるために、
)																						
P		象	対象 (直接働きかける)	同上																		
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	外国	籍市	民が	哉場、	学校、	地域(の中不	安なく	く暮り	らしやす	トい生活	ができ、	生活質	囲も	広がる	0			
L			・ 方 法 やって)	タ等い平	・ ・ ・ ら い る る る る る る る る る る る る る る る る る る	内大型 要望 。 年度	型店 こ応じ までは	(西友) て提供 は母国語	、諏	訪中央 。この 語、ポ	病院()他外間	こ置し 国籍で ガル語	いている f E E 、タナ	る。また。 集まる場	,市民課 近(食材 、中国語	窓口で店・券	転入	した外)にね	国籍	市民世	帯に配布で ちの岡元!	を教育センける他保育園 まを通じて置
			行政活動の約	洁果:	からこ	つくり	だす	ものはイ	•	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・計	算式	・目標	値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
Ν	評	活動	5ヶ国語に						1	吾)	発行数			m								750
	評価指標	指標	やさしい日2 援	い日本語による生活情報誌による支						情報誌発行数(日本 冊			#								150	
)	標の作は	成	成 果	•	効	果	は	何?	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	傾設	定の≉	きえ方など	最終目標値
	成	果指	生活情報誌	尼布	数				<u> </u>	配布数冊					(日本	浯+5か	国語)	× 15	部(900
		標																				

	• •	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円	275, 207	16, 770	82, 000	73, 000	80, 000
		金	円					
実	源県支出	金	円					
	地 万	債	円					
	ての他特定期	源	円		40.550			
440	NX XI	源	円	275, 207	16, 770	82, 000	73, 000	80, 000
施		員	ᄉ	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
	属 託 職	員	-		0.00			
	こここ	員	人	0.05	0. 03	A AF	0.05	0.05
状	H	計	人	0. 05	0. 08	0. 05	0.05	0. 05
		数 b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況		額	円	_	_		_	
沉	市民一人当たりのコス	おり	円	5. 00	0.00	1.00	1.00	8.00
		目標		800	800	750	750	750
	情報誌発行数(5カ国	実績	m	800	800	700	700	700
$\overline{}$		達成率	%	100, 00	100, 00	93, 33	93, 33	93, 33
		目標				150	150	150
	動 情報誌発行数(日本 指 語)	実績	m			100	100	100
D	1#E	達成率	%	_	_	66. 67	66. 67	66. 67
٦ ا	標	目標	_					
	<u> </u>	実績						
		達成率	%	_	_		_	
0		目標	₩.	900	900	900	900	900
	成 配布数	実績		550	650	650	650	650
		達成率	%	61. 11	72. 22	72. 22	72. 22	72. 22
$\overline{}$	指	目標	_					
		実績	0/					
		達成率	%	_	_	_	_	_
	備							
	考							

	当部	E石 夕 ■	総務		MO 07 70	_	- -ナーシップα)まちづくり	推進課 コ	ミュニテ	- 7 堆	#4		争耒期[作成担〕			明	悉	平度	登 理 番		14	UII/ 15
7.5			1 40 177				., .,,,,,		16.45 A	<u> </u>			*	F 灰 E =	31111	=1	977	_	HOL		<i>/</i> L		10
	期	期 目標 実														課題							
四	第 1 期	現在の力場所をも			見直し	を行う。	。有効な	超担	当課や内	線番号、	内容	の 身	見直しを	行った。	•	活用する方が出入りする場所に置きたいが、それ はどこなのか、あるいは要らない所はどこか検 討。							
半期	第 2 期	ガイドブ· るなど、				目談窓	ロで紹介	を持	を持っていく方が多かっ 活用する方が出入りする場所に置きたはどこなのか、あるいは要らない所はと討。														
₹ :	第 3 期	カイトノツノの印刷、配直。 伯談意口で紹介9 病院を中心にカイトノツノ(を持っていく方が多かっ 庁内の配置、部署の名称、所管などが大幅に 正されるため、来年度に向けて更に見直しが必 要。									
۲	第 4 期	ガイドブ か、庁内				要な文	書がある	翻課、依如	、学校教育	な文書か 育課から	がある 提出	が、調査を行った(税務 庁内の配置、部署の名称、所管などが大幅に改正されるため、来年度に向けて更に見直しが必要。											
O									1	事中	3	評	個	ī .									
0)							新たに生							広 :	充		C		(5		7	
管	生活ガイドブックが必要な方たちが集まる場所がどこなのか、現状を知る必											後	¥	見状維持			(3			6 L		9	
													向"	縮小			D	(8		10		
理	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)										:	方	性	生 休廃止 (1						
												向 性		/		皆 減縮 コスト投			小	現状維の		拡 大 向 性	
	評価年度 当年度																						
				妥	<u> </u>	ı	生	7	有	効	性			効	率	1	生	彩	谷 合	評	価	判	定
評	評価	5の観点	1	2	3	4	判定	1	2 3	3 4	半	定	1	2	3	4	判定						
äŤ	チ	ェック 4							ν :				3			4				E			
価(C	課題	ティセンまた各部	ノター 果に 全 ること	などに ける業 的になる	備え付 務内容 まかな 。	けて をこの 内容 の	国人登録 ある、在『 のガイド』 のものなの	車が減っ ブックを	てきて! 見て、i	いる。市 詳しい説	民課	でも要求	転入 れ はしてく	旨に渡し くるが、	ても 本来	らってはこの	いる。 生活 <mark>情</mark>	の定義	B:事 C:事 D:事 p	画が業業見業が合う ションのでは、本業のでは、大きないでは、またないでは、大きないでは、まないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	め方に ・内容 が必勢 合、位	こ改善が字・実施を表して、実・実施を表して、	が必要 施主体 止の検
н			細	施	į	策	評		価	前			糸	H	施		策	評		価		後	
E		は、必要	Eな生 hであ	活情報 る。母	が 1 冊 国語で	にまる の表記	2は、理解	ガイドコ	ブックは	生活の助	はな	、必要 り有効	な生活	情報か 。母国	く1 冊に 1語での	まとる 表記に	まった。 は、理解	E者が生活しやすくす ったガイドブックは生 理解しやすく、市役 。			活の耳	りけに	
к	評価																						
							きの 実		•			前	年 度	細施領							_		_
改革	今		細	施	i	策	評	:	価	前			斜	H	施		策	評		価		後	
•	後	成	拡	充			2	5	レ	7			~	拡 3	色								
改	の	果 ^{····}	現状	維持			3	6		9		-	果	現状維持	寺					V			
善の		方	縮	小			4	8		10		7	 با	縮・	J\								
の方向	方	向 性	休 廃	š ı F	1)		-						句	:: 休 廃 」									
	向		ולו יויו		皆	減	縮	小 琲	1	拡	大	┨ "	_	rr 196 I		皆	減	縮	小	現状維.	姞	址	大
性(性	コスト投入の方向性											_		Į.	コスト投ん				の方向性			
A	改	・各課の 応方法を						対応する	ることに	なるので	、対			専門的 検討し				辞で	対応す	ること	にな	るので	き、対
C	革	• 平成2	4年度	から毎	年利用	できる	る内容に		課の事	業内容や	制度		平成24	年度か	ら毎年	利用で	きるり	容に	Lτ.	各課の	事業	内容(や制度
I	· 改	^世 │・平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度 ・ │が変更になった時にその部分だけ修正する。 改 │・母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だ									語だ	が	変更に 母国語	なったI の他に	時にそ 「ねさ	の部分	*だけ(本語	を正する	も 。 武し、	外国籍	市民	水舟目	創語だ
(z o	改善策	けに頼ら	ず、	日本語	も習得	できる	らきっかり	けを作る	, == *# 'I'	~, 13 · 14 <u>14</u>	i ppi / ~	け	に頼ら	ず、日	本語も	習得で	きるき	きっかり	ナを作	図る必			
最終	佟評	価年月	3 3	平成29:	年5月1	9日	最終言	评価う	責 任 者	Í		•	生	涯学習	課長					藤	森	M	<u> </u>